

令和6年度 デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業審査結果

申請校名	岩手大学	整理番号	01
事業名	DX of Education [DX.E] 教育実践学×情報学分野 高度専門人材養成プログラム		

(採択後公表)

[採択理由]

本事業計画は、「高度な教育実践力と MDA 素養を兼ね備えた教員の育成」という課題に取り組むため、幅広い教養と深い専門性を両立した人材の育成として、具体的には高度な教育実践力×情報学の素養(知識・技能、マインド)を備えた校長&教員&教育行政職人材及び DX を通して予測不能な VUCA 時代を切り拓き力強い変革力を備えたレジリエントな校長&教員&教育行政職人材の育成を目的に、「教育実践学と情報学とを融合させる教育プログラム」を行政・民間企業と共同開発・実践することを計画しており、公募事業の趣旨と合致している。

ここで計画されている教育プログラムは、貴学のこれまでの学校教育に関する「理論と実践の融合」をリードする専門的力量を備えた管理職及びミドルリーダー教員養成における高い実績を踏まえ、急速に進展する超スマート社会の時代を切り開くための研究・修養カリキュラムに関しての課題を明確にした上で新たに設計されている。この点は、学校教育現場の諸課題をデジタルで主体的に解決する能力を備えた教員養成といった社会のニーズに基づいたものとなっており、高く評価できる。

また、本事業計画は大学院教育学研究科教職大学院課程の中核に位置づけられており、学長を中心とした運営体制も十分に確立されている。特に、体制面においては、事業推進委員会を中心に、外部の企業や自治体機関との連携に関しても工夫がなされており、補助期間終了後も継続的かつ発展的に取組の実施が十分に見込めるものとなっている。

本教育プログラムにおいては、教育実践における DX 等現代的諸課題と個々の児童生徒の教育的ニーズに応え得る教育実践学と情報学を融合させた高度な専門的知識と実践的指導力を修得するといった明確な学修目標が設定されており、その達成に向けたカリキュラム内容となっている。また、企業や学校現場と連携した豊富な PBL 形式の実習や演習と細やかな履修指導などにより、教育プログラムにおける学修目標を達成するための方策が十分に考えられている。

以上のことから、貴学の事業計画は「幅広い教養と深い専門性を両立した人材の育成」という今回の事業趣旨に沿った具体的かつ実効性のある、社会にとって有益な提案となっており、着実な計画の実施が望まれる。